

美風



4年生の教育実践

4年生は、体験や話し合いを多く取り入れて学んできました。

7月には、社会科で、私たちにとって欠かせない水が、どのようにつくられているのかを学習しました。一宮の浄水場の方が出前授業に来てくださって、説明を聞いたり、水をきれいにする「ろ過」や「沈殿」の実験をグループごとに行ったりしました。教科書で学習した工程ですが、にごっていた水がどんどん透きとおっていく様子が不思議でたまらないようで、子どもたちは食い入るように見ていました。

理科では、グループワークに力を入れて取り組んでいます。授業中も、感染症対策を怠らず、発言はマスクをしたまま行います。美和小独自のガイドラインのもと、グループワークの際は互いの机を合わせることで、友達との間に1m以上の距離を確保するようにして、向かい合っても接近しないようにしています。観

察や実験を行う前に、グループごとに予想を立てたり、実験・観察の方法を自分たちで考えたりする話し合い活動をしています。司会・記録・発表の役割を一人一人が担い、生活体験を基にした予想や実験方法をいつも熱心に考えることができています。

【4年担当：村松智子 濱島裕規】



芸術鑑賞会について

10月7日に、音楽工房さんによる「おもしろ民族楽器大集合」を鑑賞しました。今年度は1～3年生と4～6年生の部に分かれて鑑賞をしました。どちらの部でも、珍しい世界の民族楽器が次々と登場し、驚きと感動が沸き起こりました。三味線や琵琶、丸・三角・四角といったいろいろな形の楽器、動物からできた楽器など、見

たこともない楽器の音色に耳を澄ませる姿が見られました。打楽器の体験では、代表の児童が楽器に触れ、みんなで手拍子をしてリズム演奏しました。いろいろな民族楽器をとおして、世界中の文化に楽しく親しむことができました。



【学芸的行事担当：牧野理恵】

委員会活動の様子（給食委員会）

今年度の給食委員会の活動は、毎朝、当番で栄養黒板に給食のメニューを提示することからのスタートでした。東昇降口前の栄養黒板には、その日のメニューを書き込んで、食品群ごとに分けて食品カードを提示しています。活動を続けるにつれて、栄養黒板に書き

込んだり、食品群ごとのカードを掲示したりする手際がよくなってきました。休み時間に外へ出かけて戻ってきた児童が、栄養黒板の前に立ち止まって

見てくれています。給食委員会のみんなで、今できる仕事は何かを考えてアイデアを出し合っています。今後は、各学級から返却されたワゴンの点検を、人数を減らして始めていきます。少しずつですが、安全面に配慮しながら活動の場を広げていきます。



【給食委員会担当：久米直美 神内景子 河橋伸哉】